



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

加小っ子だより

令和6年3月1日 No.29

月日が経つのは早いもので、3月となりました。

まだ寒い日があるものの、徐々に近づく春の訪れを感じられる季節となりました。

子どもたちは、日々進学や進級という次のステップに進む準備を行っています。

6年生は、残り僅かな小学校生活を大切に過ごすとともに卒業式に向けて、式の練習も始まり、徐々に気持ちを高めていく時期となりました。

1年生から5年生までの児童も4月からの新しい学年への進級に向け、気持ちを整え1年間の総まとめを一生懸命に行っています。



打楽器の魅力に触れて....

2月26日(月)、3年生で鈴鹿市文化振興事業団の音楽アウトリーチの授業がありました。

打楽器奏者の方々をお招きして、たたいて音やリズムを出す楽器の成り立ちや音の出る仕組みを教えてくださいました。また、演奏を鑑賞したり、先生がたたく太鼓の振動を体で感じたりすることで、打楽器で表現される迫力とリズムの躍動感を体感していました。

さらに、講師の方に教えていただきながら実際に太鼓をたたいたり、シェイカーを振ったりすることで楽しみながらリズム感を養うとともに、みんなで演奏する楽しさを味わうことができました。

子どもたちは、「太鼓と太鼓が重なり合うとこんなにきれいな音が出るんだと思ったし、とても楽しかった。」や「両手に2本ずつ(バチを)持って(演奏をしていた。)どうやったらあんなにうまくなれるのか不思議でした。」「海の音がいい音で目をつぶると、本当に海に行っているみたいできれいでした。」などの感想を持ち、楽しく授業を終えました。



たこあげ楽しかった

1年生の生活科 昔のあそびの単元で、自分で作ったたこを運動場であげました。

この日は風がなかったため、子どもたちはたこを高くあげるために運動場を一生懸命走っていました。なかなか高く上がらなかったり、糸が絡んでしまったりなど、さまざまな様子を見ることができましたが、子どもたちは楽しくたこあげを体験できました。



学校からのお願い ～ 運動場を使う際には ～

加佐登小学校に赴任して、もうすぐ1年が経とうとしています。

赴任して感じたことの一つとして、子どもたちが運動場でよく運動し、よく遊んでいることです。業間や昼休みに先生方と一緒にドッジボールや鬼ごっこをする姿を見ているととても温かい気持ちになります。また、放課後も子どもたちが遊び場として友だちと元気に遊んでいる姿を見るとほほえましく感じるとともにところがホッコリします。

しかしながら、最近、運動場にお菓子の包み紙や空になったペットボトル等のごみが目につくようになってきています。学校に登校してきた児童が「お菓子のごみが落ちていたよ。」と職員室に届けてくれることもしばしばあり、子どものその行いは、「校内をきれいしよう」という素直な気持ちの表れであり、素晴らしいことなのですが、ごみがあることについては残念な気持ちになることもあります。

学校はさまざまな学習を行う場と考えています。放課後の運動場は、学校管理下ではありませんが、地域の公園と同じで遊びを通じて、公共の場を使うときのマナーを身に付ける大事な場ととらえることもできます。

もし、子どもたちが運動場で遊ぶときにお菓子などを持参するようなことがありましたら、学校でも子どもたちに指導を行います。お家の方でも「ごみは持ち帰ってくるんだよ～」と一声かけていただけると幸いです。

みんなが使う場所（公共施設）だからこそ、ひとりひとりが自覚を持って、より安全に、よりきれいに使っていただきたいです。

地域の方々におかれましても、小学生以外の方が運動場にみえるときにはひと声かけていただくなど、ご協力いただければ幸いです。

